

ERS ミニシンポジウム

木造住宅の実力（耐震）

日時：2016年8月5日（金） 15：30－18：00（15：00開場）

場所：東京大学生産技術研究所 5棟プレゼンテーションルーム
東京都目黒区駒場4-6-1

主催：東京大学生産技術研究所 耐震構造学研究グループ ERS

2016年熊本地震をはじめ、大地震が発生するたびに戸建木造住宅に地震被害が発生し、耐震性がたびたび問題視される。

明治以降建築されてきた木造軸組工法住宅は、地震被害のたびに改良が重ねられ、経験則だけでなく、実験、解析に基づいて工学的な耐震性能評価法が整備されてきた。しかし簡便化されて運用されている「壁量計算」では、その目標性能、保有する耐震性能についての改良を正確に知る機会が少ない。また、木造住宅では、設計で評価している耐震要素以外にもさまざまな構成要素が余力として働き、設計で想定している以上の耐震性能を発揮する可能性が知られている。

本シンポジウムでは、木造住宅の耐震性能評価方法が目指している性能とそれに基づいて設計された木造住宅の実力について考えます。

耐震性能評価法から見る木造住宅の実力	腰原幹雄（東京大学）
熊本地震から見る木造住宅の実力	五十田博（京都大学）
構造解析から見る木造住宅の実力	中川貴文（Wallstat 開発者）

申し込み：氏名、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス）を7月29日（金）までに下記までご連絡ください。

mokuzo@iis.u-tokyo.ac.jp

定員：100名（先着順）

問い合わせ先：東京大学生産技術研究所 耐震構造学研究グループ ERS
腰原研究室 Tel：03-5452-6842